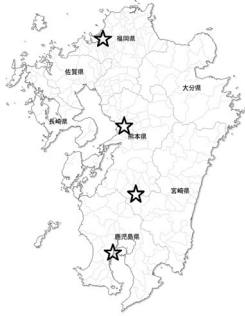


九州正教会だより 第44号



(人吉・鹿児島・熊本・福岡)

2023年5月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



奇跡の人

司祭グリゴリイ 水野 宏

ハリストス復活。世界の正教会は4月16日に復活大祭を迎えました。

さて、盲聾啞の三重苦を克服したヘレン・ケラーの名を知らない人はいないでしょう。彼女が障害を克服する過程を描いた劇「奇跡の人」は大変有名で、映画にもなっています。ちなみに「奇跡の人」の原題は「The Miracle Worker」（奇跡を起こした人）です。

この「奇跡の人」の主人公はヘレンではなく、彼女に言葉を教えた家庭教師のサリバン先生こと、アン・サリバンです。ヘレンが言葉を習得でき、その結果知恵の目が開いたのは彼女の独力ではなく、ひとえにアンの働きによるものであり、それが奇跡的だという意味です。

さて、復活祭後第六・瞽者（こしゃ）の主日（今年は5月21日）ではヨハネによる福音書9章から、イエスが生まれつきの盲人の目を開いた奇跡について読まれます。

イエスが盲人やその他の障害者を癒す奇跡の記事は聖書の中に何か所も出て来ますが、生まれつきの盲人、つまり生まれてから一度も何かを見たことがない人に「視力」を実現させたという記述はこの一か所だけです。そして肝心なことは、三重苦のヘレン・ケラーがサリバン先生からただ単に言葉を教わっただけでなく、それを通して知恵が開花したように、この盲人も奇跡を通して単に視力という肉体の機能を得ただけでなく、本人が「あの方が神のもとから来られたのでなければ、何もおできにならなかったはずです」（ヨハネ9:33）と書いているように、イエスが神の子・救世主だという真理を悟ったことにあります。

その意味では主の復活こそ、人類史上かつてない最大の奇跡です。そしてこの復活した主に会ったことで、復活はフィクションでなく事実だと証言できる人々が使徒たちです。私たちクリスチャンも使徒たちの証言を通して、イエスは間違いなく神の子・救世主であり、復活も事実だと信じているのです。この信仰の原点ともいべき奇跡「復活」を、今を生きる心の支えにして、日々前進して参りましょう。